

主催：日本遺産三徳山三朝温泉を守る会 / 共催：三朝町教育委員会

三徳山の真価を学び、地域の至宝を未来へつなぐ

令和7年度三徳学講座



文化財や歴史を
これから知りたい方
大歓迎！
(受講料 無料)



『解き明かされる神倉の地』

～後口山遺跡が語り始めた、知られざる歴史的価値～

神倉にある『後口山遺跡』をご存知ですか？
重要遺構である『石列』の正体とは…。

私たちの町の歴史を楽しくひも解く特別な時間をお届けします。

令和8年3月14日(土) 午後1時30分開会

三朝町総合文化ホール 大会議室

講師 日本山岳修験学会 理事 山本義孝 氏



第1部(入門編)

『神倉後口山遺跡とは？』
～三佛寺と神倉後口山遺跡を考える～

神倉で見つけた『謎の遺跡』。
調査でわかった驚きの事実を
楽しく学びましょう。

時間

午後1時30分～
午後2時50分(予定)

遺跡？
石列？
修験？



興味のある回だけの
受講も大歓迎です。



事前申込制(定員80名)
お申し込みはこちらの
フォーム又はお電話から



申込期限
3月9日(月)

詳しい申込方法は
裏面をご覧ください

第2部(応用編)

『最新調査報告と徹底考察』
～調査結果から読み解く遺跡の実像と考察～

最新調査から判明した石の配置に基づき、
三徳山の歴史における遺跡の役割と可能性を
考察します。

時間

午後3時～午後4時(予定)



【お問合せ】事務局：三朝町社会教育課

電話 0858-43-3518

Mail mitokusan@town.misasa.tottori.jp

神倉後口山遺跡 (かんのくら うしろやまいせき) とは？

始まりは、地域に伝わる「不思議な場所」の話から

「山の中に、石が多く積まれ草が生えない不思議な場所がある」——
そんな地元の方からの情報がきっかけで調査が始まりました。

その地には修験(※1)にまつわる名前が多く残り、かつては神倉側
からも三徳山へ通じていたという、深い関わりが伝えられています。

※1 修験：山を特別な場所と考え、お祈りや瞑想などの修行を行うこと。



遺跡内にある磐座(いわくら)
後方には三徳山山頂を望む

姿を現した人工的な「構造物」

平成23年からの調査により、山の中で人の手によって作られたと思われる構造物(石列)がたくさん確認されました。

三徳山の頂が見えるこの地において、かつて組織的・大規模な修行や儀礼の空間が広がっていたことが明らかになりつつあります。

「遺物が出ない」というミステリー

通常、遺跡からは当時の道具(土器など)が見つかりますが、ここでは裏付けとなる遺物がほとんど発見されていません。(※2)

そのため、いつ誰がこの場所を築いたのか、詳細な時期や変遷は未だ謎に包まれています。

※2 修験の場では、持ち込んだ道具は必ず持ち出すという作法があり、後に残りにくい性質があります。

地域の歴史を考える貴重な遺構

学術的な確定要素は少ないものの、三徳山周辺の信仰の歴史を考える上で、非常に注目されている遺跡です。

私たちは今、郷土に眠る知られざる歴史の断片を、未来へつなぐための一歩を踏み出しています。

申込方法について

1 申込フォーム

以下の二次元コードまたはURLより、必要事項を入力・送信してください。



【URL】

<https://forms.gle/R3iZAs4bU3UZVMNPA>

2 電話、メール

事務局まで、以下の「基本情報」を連絡してください。

- ① 申込代表者氏名
- ② 連絡先(電話番号等)
- ③ 住所(自治体名、または三朝町内の方は集落名)
- ④ 参加人数
- ⑤ 受講講座(第1部のみ、第2部のみ、共通)

〔申込締切〕

令和8年3月9日(月)

(ただし、申込期日までに定員に達した場合は申込を終了する場合があります)

〔申込先〕

日本遺産三徳山三朝温泉を守る会事務局(三朝町教育委員会事務局 社会教育課)
電話 0858-43-3518 / メール mitokusan@town.misasa.tottori.jp